

鶏飼養の注意(一)

劣悪な牝鶏を飼ふの不利
舍内の通風は風邪の原因

養鶏をやつて成功するには各方面に亘つて努力しなければならないが、其内産卵鶏を選択して育て、その内は肉屋に貰うなど自家用にするなど、善玉臭否で定め、飼養してみては多數に利益を収めるが、他の劣等鶏が其利益を奪つて仕舞ふから結局勞多くして効率として云ふことになる、どんなに良種の牝から孵化した鶏でも全部良鶏となるとは限らず大抵三分から五分迄は見込みのないものがある、劣悪な牡鶏を飼養していくのは利益を低下する云ふのみではなく、彼等は病氣となり易く、また寄生虫の宿となり易く、源氣となるから、い體質であるから、

毒出荷す
市價は良好

◆果實類
薺府地方より

自活する女

い事であります

國

上では私に敵意をいたくやうに
なりました。もして私が贈つて
遣つた少しばかりのものを、向
ふから突っ返して來ました。其
のうちに私の子は病氣に罹つて
病院で横にならぬ期を遂げました
が、それでも息を取る間に私は決して君に強説するのではな
い。君の言ふとおりませんから、だが、もう一度
君に言つて置きます。自分の
子は病氣つて倒れる人が何人のもの
だといふ事を、私は其れをさ
うの苦労經驗から覺つたのです
です。私は其れだけ大切で、も
うの慰藉にして居ると共に、達者
で居る時に冷感であつた事を二
層後悔して居ます。」
「其の時に武川が頭を撞けました
傳藏の眼には涙がうるんで居た
ことにかく私の眼には、美しい上眼
瞼で死んでしまひました。しかし
君の娘の恭子はまだ達者で居
ます。其恭子は弟を病院へ入れ
る爲にベーの女婿になつ居る
ううう、何と美しい心がで
はありますせんが、武川さん、何
うです、それが君の娘なんです
ぞ、私は其ういふ娘を助けてや
うたり、又助けて遣るのは造作
私的自由に御任せを頼めたれ
「其がは言ふまでも無い事です
私は決して君に強説するのではな
い。君の言ふとおりませんから、だが、もう一
度君に言つて置きます。自分の
子は病氣つて倒れる人が何人のもの
だといふ事を、私は其れをさ
うの苦労經驗から覺つたのです
が、其の時僕はもう間に合はなか
つた。
「傳藏の聲は沈痛に響いたが、
其これから十分ばかり立つて、武川
を乗せた自動車は茅原の家の
も出でて行きました。車の中に風呂
ぐみをして老けて居る
川柳



— 祝力燕 —

自活する女
——(二二八)—— 青園

「武川さん、待つて下さい。」
茅原は躊躇うしなかつた。
「君のいいふ間に遊びやうとして居ますね、私も君と同じやうな経験があるから、無理で思はないが、君も懺悔しないでいふもの其の事なんです、まあ聞いて下さい。」
茅原に其う言はれて、博は立ち端を失つた。

「私の子であるのを、其うでないと誤解して居る事は、今も君に話した通りですが、其の爲めに私は何なんに無情な親でしたらう、父であるといふ事は無論上、で認知しないから、其の子は私生兒のしかも父なし子で身が狹くて居なければ成らなかつたのです、當人は其れが辛いから私に哀願して来ました。其時に恭子といふ君の娘さん

「あなたが私に勧告して下すつた御勅旨は感謝しますがあなたの御勅告に隨ふか隨はないかは

もない事であるが、其の娘の八人には便りならない自分で活きてゐる所で、私が倒見るとつて居ます、私が倒見るとつたら屹度拒絶するに極まつて居ます、其處で私から君に懇願します、それは何うか優しい父親になつて、自分の娘を救つて御遣りなさいといふ事をで、肉眼の君を向ふも拒絕はしないでせうし、君も其うすれば私やうな後悔をせずに入満んでせう、武川さん無情な父であつた私が好い手本だから、能く考へて見て下さい。」

茅原の言葉を博は次第々々に熱心に聽いて居ながら、最後に漸づき口を開いた。

カ キ モ チ	祝 餅 並 に 赤 飯	春 月 半	ホ シ の 時 る	が か る 時
			食 欲不 振の時	
			飲食過 過の時	
			は ら い た め 時	
			ほ き く だ し の 時	
			胸 の 苦 しき 時	
			二 日 酔 の 時	
			胃 腐 屬 カ ク ル の 時	
			胃 擴 張 の 時	
			消 化 の 出 来 時	
			應 應 の 時	

This image shows a page from a Japanese newspaper from the early 20th century. It contains several vertical columns of text, each representing an advertisement for a medical or dental service. The ads are written in Japanese, with some English words like 'San Francisco' and 'Sacramento'. The layout is dense and typical of early printed media.

大映畫公開趣意

日本の歴史中最も異彩を放てる鎌倉の暗黒時代を背景とし、競ひ起れる八宗九宗を舞臺こし四海面目の民衆を觀客として、天變地妖の大音樂に合し、立正安國の大宗教劇を演せられたのは大聖日蓮であつた。

建設する一大源泉ではあるまい。少くとも血と涙の忍難の錦を織りなされた大聖人一代奮闘の歴史は迫害と隱忍の生活に呻吟して居る在米同胞にこそつて確かに一掬の救濟樂を信ずる。

此の意味に於て「一代藏經は日蓮一人の日記文章なり」と宣言せられた法華經の活ける表現である、大聖人の一代を活動寫眞として一般的の觀覧に供し、藝術的享樂の中に佛教の精神を體得に努むることは有意義のことゝと思ふ。

に此の聖舉に依て佛教宣傳の道場たる教會の基礎を確立し永久的社會奉仕の歩を進めやうとするのである。希くは江湖の諸賢我等が微衷を諒こし此舉に贊助後援あらんこそ。

賜
舞人さざなみ
尊
讀謹
身延山池上山
海軍中將佐藤鉄太郎閣下
小笠原長生閣下
日蓮宗各寺院

貴臺覽史活歴の皮安
聖蓮日記 大代
管長 譲演 瑞德嵐

四月十三日	ワツソンビル	浪花節	北都齋謙遊
		三味線	北都齋謙遊

申込所
桑港興行會社
桑港ゲリー街一五〇五